

成人看護学概論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：准教授・石井真紀子

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：61

■ 授業概要

成人期にある対象の特徴を身体面・心理面・社会面から理解するとともに、健康観の多様性を理解することで、対象の健康的な生活を検討できるよう、必要な知識を教授する。また、対象の環境や生活習慣あるいは職業と健康障害との関係を考え、必要な看護を検討するために必要な知識や技術、体動を涵養する。さらに、対象の最善の利益にかなう看護を実践するために不可欠なケア・スピリット（倫理的な姿勢）の重要性に気づき、実践に移せるよう知識を教授することで態度を養う。

■ 到達目標

1. ライフサイクルにおける成人の位置づけについて説明できる。
2. 成人期にみられる健康障害について、成人の特徴・生活行動と関連づけて説明できる。
3. 成人の健康レベルに対応した看護について説明できる。

■ 教育内容

成人看護学

■ キーワード

成人期、成長発達、生活環境、生活習慣、健康観、健康レベル、ワーク・ライフ・バランス、ケア・スピリット

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	授業ガイダンス 1. 成人であるということ／成長発達の特徴 (テキスト 25 巻 13-56 頁)	本科目の授業概要、到達目標、進め方、評価について 【講義】 ・「成人」の定義、「成人」の自覚 ・人間の成長発達と成人期 ・成人の成長発達、成人の役割 ・成人期の健康問題	石井
2	2. 身体機能の特徴と看護 (テキスト 25 巻 57-87 頁)	【講義】 ・身体機能の安定性と変化 ・医学的知識を応用した身体機能の理解に基づく看護 ・身体機能の変化を分析する視点と看護 ・個人の身体機能を理解する方法	石井
3	3. 成人の生活を理解する視点と方法 (テキスト 25 巻 89-110 頁)	【講義】 ・生活とは何か ・成人の生活の理解 ・成人の生活のアセスメントガイド	石井
4	4. 健康観の多様性と看護 (テキスト 25 巻 111-125 頁)	【講義】 ・主要な健康観 ・個人の健康観に影響を及ぼす要因 ・個人の健康観を理解する方法 ・保健行動と健康観 ・さまざまな健康観を踏まえた看護	石井
5	5. 学習の特徴と看護 (テキスト 25 巻 127-150 頁) 【関連動画】 「医学モデルとエンパワメントモデル 142」	【講義】 ・おとなの学びの特徴 ・成人教育学の概念（アンドラゴジー） ・おとなの学びの目標 ・健康状態と学習方法の関係 ・看護師が効果的な学習方法を計画するために必要なアセスメントガイド	石井

6	<p>6. 成人の生活・健康・看護</p> <p>課題1: 過労死と働き方改革(ワーク・ライフ・バランス)</p> <p>課題2: 職場の環境要因とそれによって生じる健康障害</p> <p>課題3: テレワークに関わる健康管理</p>	<p>【グループワーク】</p> <p>グループで割り当てられた課題について検討する</p>	石井
7	<p>課題4: ストレス、成人の生活ストレス</p> <p>課題5: ストレス関連疾患と保健医療</p> <p>課題6: 身体活動の生理的効果、身体活動のメンタルヘルスへの影響</p> <p>課題7: 成人の身体活動と健康障害</p>	<p>【発表と全体討議】</p> <p>検討した成果をグループ単位で発表し、全体で討議(質疑応答)する</p>	石井
8	<p>授業のまとめ</p>	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの成果に対する補足と解説 ・レポート課題の提示 	石井

■ 履修条件

なし。

■ 成績評価方法

グループワークの成果物（20%）、個人レポート（80%）の配分で評価する。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・レポートのフィードバックは、コメントを付して Google Classroom 上で行う。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
25 巻 成人看護学 ① 成人看護学概論

■ 参考書・参考資料等

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
26 巻 成人看護学 ② 健康危機状況／セルフケアの再獲得
27 巻 成人看護学 ③ セルフマネジメント

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

・授業前：テキストの該当頁を熟読し理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する（90分）。

・授業後：テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学習した内容を整理し理解を深める（90分）。

■ 担当教員からのメッセージ

成人である自己をまず理解するとともに、周囲の家族や地域の人々との交流などから青年期から向老期の人々の成長・発達、健康、生活に関心を向けながら、学習を深めて欲しい。

この科目で学んだ理論や方法論が、2年次以降の成人看護学の科目を学ぶための基礎になる。よって授業には事前学習の課題を行って臨み、授業後には配布した資料の整理をしつつ復習を忘れないこと。また、専門用語については正しく用いることができるように辞書等で調べること。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 8 : ishii★iwate-uhms.ac.jp、オフィスアワーは特に設けませんので、事前に日時のアポイントメントをとってください。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

臨床での看護師の経験を専門的な知識をもとに、理解が深められるように実践的な講義を目指し実施している。